

誓いの言葉

大石 竜太郎

本日は私たちのためにこのような式典を催していただき、誠にありがとうございます。また、杉本市長を始めご臨席の皆様、本日は、はたちの集いという私たちにとって特別な瞬間にお集まりいただき、心より感謝申し上げます。

さて、今日は私たち一人一人が大人としての第一歩を踏み出す素晴らしい日です。この式典は、私たちが社会において新たな役割を果たすための出発点であり、また同時にこれまでの努力や経験を称える場でもあります。私たちの大きな節目である今日この日を無事に迎えることができたことに、感謝の気持ちで胸がいっぱいです。そして、家族や友人、先生方など、これまでの道のりを一緒に歩んで来てくださった皆様に深く感謝しています。私がおこの場に立っているのは、単なる偶然によるものではなく、多くの方々の沢山の愛とサポートの賜物です。

20歳という節目を迎え、私がこれから生きていく上で大切にしたいのは、他者とのつながりです。私は今、スケートボードというカルチャーに情熱を注いでいます。故郷である牧之原市を出て出会ったストリートは、仲間との絆を深め、新たな友情を築く手段となりました。

この、スケートボードという小さな板の上での日常は、私と仲間たちの人生に、大きな意味を与えています。スケートボードを頑張ることで生まれる喜びや成果は、ただ自分だけのものではありません。仲間たちと共有することで、その輝きをより一層増していくものです。私たちは、スケートボードを通し、一緒に新しい技に挑戦したり、困難を共に乗り越えたりすることで、絆がより深まりました。

私はこれからも、仲間たちとの絆を深め、スケートボードが私たちにもたらす自由な発想と勇気を持って、様々なことにチャレンジしていきます。共に成長していける仲間とのつながりが、私の誇りです。このつながりを大切にすると同時に、もっと多くの人とのつながりを増やし、自分の世界をどんどん広げていきたいと思っています。

これからは、今までにない苦しい時期や困難な状況に遭遇することもあると思います。しかし、それらを乗り越える力が、今まで歩んできた20年間で備わってきていると信じています。想像できないような大きな挑戦をすることもあると思いますが、失敗を恐れず、自分に対する信頼を持って乗り越えていこうと思います。

私は、豊かな人生を築くためには自分の成功のためだけに行動するのではなく、周りの人々とともに歩んでいくことが必要だと考えます。そのために、今まで自分を支えてくれた人たちとのつながりを大切にしながら、これから出会う人たちとも積極的に交流することで、自分の新たな可能性を見出して行きたいです。

最後になりますが、私は、これからの日本の未来は私たちの手で築かれていくものだ確信しています。歩んだことのない道を歩むのは多くの不安がありますが、自分らしさを忘れずに、未来に向けて前進していくことを宣言し、誓いの言葉といたします。ご清聴ありがとうございました。